

令和5年9月9日

精神科主治医への「生活状況等」報告書

～ A・Y・M-TASUKU 様式(2023.09)の使用方法について ～

本様式は、愛知医科大学病院精神神経科 精神科認定看護師 佐藤輔 氏のご指導の下、長久手市在宅医療・介護連携支援センターやまびこ佐光様との協働により作成した『精神科主治医への「生活状況等」報告書』A・Y・M-TASUKU 様式(2023.09)です。

先般、長久手市在宅医療・介護連携支援センターやまびこ様主催の多職種連携研修において、ご家族および福祉関係者による精神科外来受診等の現状について話し合いをしたところ、ご家族や支援者目線によるご相談により、ケアする方々の困り事や悩み事はわかるものの、治療に反映できる生活状況が見えにくい、見えづらいとの課題が見えてきました。

特に周囲の関係者が、精神科ドクターや看護師へと伝わりやすいのか、どのような事柄を報告すれば良いかわからないのかもしれないと考えたため、治療に必要な情報かつスピーディーに診察診断へとつながりやすい、確認しやすいもの等の視点を踏まえ、別添様式の生活項目、および、状態の項目を設定してみました。

また、簡易的に入力でき、記入の時間をあまり必要とせず、どなたにも悩まず入力しやすいよう、ある程度のタブ設定を予め入力し活用しやすさも考慮いたしました。

本様式(無料)は、精神科医療相談として、当事者目線による支援に立ち、薬物のみが主たる治療、唯一の解決方法の柱とするだけではなく、患者様・利用者様が、地域生活でよりよく医療・看護・保健・福祉等とつながって、非薬物療法によっても、健康で健全な暮らし、QOL向上を目指す支援の一助となればと、今回意図して作成いたしました。

ぜひご活用いただきまして、日頃のご支援へとお役に立てただけでしたら幸いです。

使い勝手やご提案、使用後の結果等を教えていただきましたら、またバージョンアップしてまいりたいと考えておりますので、次までお知らせお願いいたします(なお、メール等のみ受付、また、当方からのご返信のない場合もご容赦お願いできれば幸いです)

【ご連絡窓口】 社会福祉法人百千鳥福祉会(愛知県長久手市)  
尾張東部・海部圏域 障害者相談支援地域アドバイザー竹田  
Eメール : okagesan@momochidori.jp

以上